

条例議案

- **人事院勧告に基づく給与改定（一般職・特別職・議会議員・会計年度任用職員）**
今年の人事院勧告は引上げであり、それに準じて各給与の改定が行われました。特別職と議会議員については、より市民の皆様にもわかりやすくということで、特別職報酬等審議会のあり方について今後検討していくことになっています。
- **個人情報保護条例の改正**
個人情報保護法の改正に伴い、条例改正がありました。市の個人情報保護審議会の役割が大きく変わります。



事件議案

- **伊保スポーツ広場指定管理**
広域ごみ処理施設「エコクリーンピアはりま」の建設の一環で新設された伊保スポーツ広場の指定管理者が決定しました。

予算議案

- **出産・子育て応援事業**
国の実施する事業である出産・子育て応援事業について、高砂市でも予算を可決しました。ただ給付金を給付するだけでなく、より良い支援につなげてもらえるよう、今後もチェックしていきたいと思えます。



しまづはるか後援会・連絡先

- Address** 〒676-0071 高砂市伊保東 2-2-23
- Tel/Fax** 079-439-2733
- HP** <http://shimazuharuka.com>
- E-mail** shimazu.takasago@gmail.com
- ブログ** <http://shimazuharuka.com/blog>

@shimazu_haruka 島津明香 LINE公式アカウントでの発信をはじめました

後援会入会フォームは
こちらから！

“You Tube”でも
『市政報告』を
ご覧頂けます！

公式LINEからご相談をお受けしています。
公式LINEは、私からの発信は皆様に一斉に
お送りすることになりますが、いただく返信は
私にしか見られないようになっています。
安心してご相談ください。

ご登録は
こちらから！



ご挨拶

令和5年最初の市政報告Newsを発行しました。令和5年は「皆様の声をカタチに」をテーマとして、1年間活動を行っていきたくと考えています。

3期目の選挙の際、「皆様に寄り添う」を一番に訴えてまいりました。人口減少で財政的にも限られている中、皆様のご要望をすべてその通りに叶えていくことは困難であると感じています。そのため、ご要望をいただいても、その通りに実現できることはほんの一握りです。だからこそ、本当の課題を見つめ、一緒に課題解決ができる議員として仕事をするという事は、1期目からこだわってきたことでした。令和5年はこの力をさらに向上させ、皆様のお役に立てるよう、学び、実践していきたく思います。

高砂市のPRポイントについて

市政報告会より

11月に開催した市政報告会では、公式LINEにご登録いただいている皆様からテーマを募集いたしました。地元や限られた政策だけでなく、未来を広く捉えたテーマをとのご意見から、「高砂市の未来像」というテーマで市政報告会を開催しました。当日は「明石市の子育て」「加古川市のスマートシティ」のような政策的な面での高砂市の特色という観点で参加者の皆様からご意見をいただき、12月定例会での一般質問につながりました。

政策に特色は必要であると考えているのか、もしそうであれば高砂市としてはどのような特色をもっていこうと考えられているのか、市長の考えを伺いました。

市長

の
考え

- ・ ブランドイメージとしては、「私が住みたいまち高砂」の確立を目指していきたいと考えている。
- ・ 様々な施策を展開し、総合的に「市民一人一人が思う住みたいまち」の実現に取り組んでいきたい。
- ・ 市長が考える「市の魅力」は石の宝殿や謡曲「高砂」など

島津

の
コメント

「私の住みたいまち」というコンセプトは、誰一人取り残さないSDGsの考え方を反映しているものの、市民一人一人が異なったものを持っているものであるため、ブランドとしては確立しがたいと感じています。また、政策面で、ということは何度もお伝えした質問でしたが、石の宝殿や謡曲「高砂」といった歴史文化という「自治体」ではなく「風土」が培ってきたPRポイントしか聞き出すことができませんでした。歴史や文化を大切にすることももちろん重要ではありますが、これからの時代、政策でまちを色づけていくことも重要であると感じているため、引き続き質問をしていきたいと考えています。私は議員として、これからの高砂市の方向性として「環境」が一つのキーワードになると考えています。高砂市は令和3年7月には「ゼロカーボンシティ宣言」を行っています。産業・エネルギー部門のCO2排出量が80%を超える特徴をもつ高砂市において、効果的な取り組みを行うことができれば、先進的な取り組みとなる可能性を持っていると感じています。

NEW

コラム Column



電気自動車の カーシェアが始まりました！

公用車としてレンタルしているEV車を土・日等のお休みの日には市民の皆様にもカーシェア(有料)として利用いただけるサービスが始まっています！ぜひご活用ください。

詳細は
こちらから！



ママインターンの取り組み

頑張れ
ママ！



市政報告News38号でお知らせしたとおり、「ひろげよう！ママインターンプロジェクト」という企画に参加し、ママのインターンシップを受け入れています。今回は調査研究をしたことから質問につながったものについてお知らせします。

給食の課題について

『黙食』 について



『黙食』って何？

黙食とは、新型コロナウイルス感染症の対策の一環として行われている、会話をせずに食事をする事で、学校給食時にもそれが求められていました。

ママインターンのプロジェクトの一環で8月に給食に関するアンケートにご協力いただいたところ、黙食に関するお声を多くいただきました。12月定例会の開会前に文部科学省から「黙食を求めない」ということについて通知があったこともあり、高砂市でもこの通知を受け、黙食をしなくてもよくなりました。今回の一般質問では給食時に子どもたちを困っているパーティションの撤廃についても考えを伺いましたが、教育委員会としては、まだ続ける必要があると考えているとのこと。今後、適切に判断いただけるよう、引き続き声を届けていきたいと思います。

オーガニック給食の導入について

このテーマについては、他の議員の方の過去の質問から、下記の表のような課題が見えてきました。そのため、今回はその課題についての考え方を中心に質問しました。



こども園等

小中学校

安定した
食材の供給

価格

調理
時間

安定した
食材の供給

価格

議題その1

一つの食材からの 導入に対する検討結果

今年度、一つの食材から導入を目指していたものの、実現できなかったとのことでした。具体的には7月の七夕の日の行事食に使用するオクラについて、価格面でも購入可能と判断し、購入する方向で進めてきたものの、天候の影響で出荷できる大きさに育たなかったとのことでした。給食は事前に献立が確定しているため、オーガニック食材の供給確保には課題があるものの、今後も生産者や取扱業者を探し、導入を検討していきたいとのことでした。



議題その2

比較的価格の高い食材に 対する工夫

学校給食においては、1日の給食のうち、牛乳が大きな単価を占めます。大阪府泉大津市の「ときめき給食」では、独自の栄養基準の考え方から牛乳をなくし、お米を農家さんから直接仕入れる事により、給食にかかる経費を下げ、保護者負担を増やすことなしにオーガニック給食を実現しています。高砂市でも学期に1度でもこのような手法を取り入れ、価格の課題を払拭できないか伺いました。高砂市では、「高砂市学校給食摂取基準」を定めて献立を作成しており、牛乳をなくすと1食分の栄養量が不足してしまうとのことで、結論として泉大津市のような手法は考えにくいとのことでした。